

2018年度一般会計決算 基金（貯金）112億円

豊かな財源を教育・文化・スポーツの充実に

子ども医療費

18歳まで入院無料化実現

9月定例議会（20日閉会）で、「来年4月から18歳誕生日を迎えた年度末までの医療費助成（無料）を入院に限って実施する条例改正案」が可決されました。

入・通院とも18歳まで助成は、県内で21自治体

左表の通り、県内では、すでに21自治体（9市11町1村）が入・通院とも18歳の年度末まで医療費助成を行っています。入院のみは3市だけです。日本共産党は「子育て日本一をめざすのであれば、通院も無料にすること」を求めました。市は「段階的に実施する」と答えました。

県内の子ども医療費助成状況

（県内63自治体、本年4月1日現在）

○入・通院とも18歳年度末まで

桶川市、北本市、行田市、熊谷市、白岡市、秩父市、新座市、深谷市、本庄市、伊奈町、小鹿野町、越生町、神川町、上里町、長瀨町、滑川町、美里町、皆野町、横瀬町、寄居町、東秩父村 (21)

○入院のみ18歳年度末まで

朝霞市、鴻巣市、志木市 (3)

人口減少に歯止めをかける抜本的な施策を

春日部市の最大の課題は、人口減少に歯止めをかけることです。

2018年10月の人口は、23万4824人で、5年前の2014年の23万7965人と比べて、3141人減少しました。

特に、この5年間で、49歳までの人口が、8816人も大きく減少し、引き続き深刻な状況となっています。

出生数も、5年前と比べて245人も少なくなっており、合計特殊出生率は、全国や県平均より低い状況が続いています。

49歳以下の人口8,816人も減少

（2014年から2018年の5年間）

0～19歳	3,023人減少
20～49歳	5,793人減少
計	8,816人減少
50歳以上	5,675人増加

出生数	2014年	1,623人
	2018年	1,378人
		-245人

主な議案・意見書・請願の賛否

	議案	請願	意見書
▲ 1名退席 ● 反対・否決・不採択 ○ 賛成・可決・採択 ◎ 提出会派・紹介議員	18年度一般会計決算認定 18歳まで入院の医療費無料化 消費税増税の一般会計補正予算	学校体育館にエアコン設置 消費税増税の中止を求める	国保引き下げ 子ども医療費無料制度創設 学校体育館エアコン設置 選択制夫婦別姓制度の導入 ホルムズ海峡へ自衛隊派遣反対 核兵器禁止条約の批准を求める 会計年度任用職員の財政措置
◎ 前進かすかべ。未来の会 ☆NHKから国民を守る党			
日本共産党(6)	● ○ ●	◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎
新政の会 (10)	○ ○ ○	● ●	● ● ● ● ○ ●
※未来の会 (8)	○ ○ ○	● ○	● ○ ▲ ● ○ ○ ●
公明党 (6)	○ ○ ○	● ●	● ○ ● ○ ● ○ ●
☆N国党 (1)	○ ○ ○	○ ●	● ○ ● ○ ○ ●
無所属 (1)	○ ○ ○	● ●	● ● ● ● ● ● ●
結果	○ ○ ○	● ●	● ○ ● ● ● ○ ●



春日部市は少子高齢化が急速に進んでおり、この対策が大きな課題です。

子ども医療費無料制度の創設を求める意見書採択

全国で子ども医療費の無料化が進んでいます。「国の制度として子ども医療費無料化を創設し、子育ての経済的支援をすることを求める意見書」が採択されました。（日本共産党提出、反対は無所属1名のみ）また、国に「核兵器禁止条約の批准を求める意見書」も賛成多数で採択されました。

に力を入れ、学校給食費の無料化など、子育て支援を行い、魅力ある市にすることが重要」と指摘し、抜本的な対策を求めました。

日本共産党議員の一般質問



うづき 武彦

総務委員会委員、都市計画審議会委員

小淵162-1 春日部サンハイツ2-404

☎761-6185

石川市長は、「支援員の増員も行っており、引き続き生活困窮者支援に取り組んでいく」と答えました。
○旧倉松公園を利用しやすい公園に

市の総力をあげて生活困窮者支援を
生活困窮者の救済のため、「支援会議」の設置を求めました。支援会議は、生活困窮者自立支援法で「福祉事務所を設置する自治体が設置できる」と定められ、各部署間で情報を共有できることになっています。福祉部長は、「現在も連携して取り組んでいる」として、設置の考えは示しませんでした。
税金の滞納は、生活困窮のサインです。差し押さえではなく生活再建支援の充実と債権管理条例に、「市民の生活を支援する」という内容の追加を求めました。



松本ひろかず

党市議団長、議会運営委員会委員、教育環境委員会委員、議会改革検討特別委員

小淵1334-1 ☎752-3947

ホームページ [松本ひろかず](#)

赤沼の産業団地建設と環境センター
余熱利用暫定広場の活用について
市環境センター南側の農地（約20ヘクタール）に産業団地を建設する準備が進められており、3年後には東埼玉道路が開通する予定です。今議会に地元のみなさんから「県道の大型車通行禁止継続と信号機の設置を求める陳情」が提出されています。住民の納得と合意を得て事業をすすめること、余熱利用暫定広場を、産業団地建設と併せて、温水プールや健康・ふれあい・いこいの複合施設として整備することを提案しました。
都市整備部長は、「丁寧に進める」、石川市長は「ごみ焼却施設建てかえ時に、地元のみなさんの意見を十分拝聴して改めて検討する」と答えました。
○職員の未払い超過勤務手当（残業手当）は、いつになったら全額支給されるのか

市に、不妊手術への補助や「地域猫活動」への参加を求めました。環境経済部長は、「不妊手術が生命の尊厳を守るかどうかの判断は難しい」として消極的な姿勢でした。「地道に活動されている地域の皆さんと一緒に考え学ばべき。小さな生命の尊厳守れる市は、人にも優しい市になります」と主張しました。
○（仮称）北春日部駅周辺区画整理事業について



坂巻かつのり

建設委員会委員、広報広聴委員会副委員長

八丁目1468 ☎752-6025

豊春駅東口駅前広場及び豊春駅前通りの歩道整備の状況は
豊春駅東口駅前広場の整備が進み、暫定的に供用が開始されました。以前よりも広くなり、歩道も整備されましたが、「送迎用の車が止められなくなり、使いづらくなった」との声があります。「乗降スペースの確保は出来ないか」と質しました。
都市整備部長は、「現状の歩車道を拡幅し、安全に乗降できるよう整備を進める」と答弁しました。
また、豊春駅前通りは、ここ数年、歩道の整備が進み、歩道が出来て歩きやすくなりました。しかし、進捗率はまだ23%です。今後も、さらに歩道の整備を進めるよう要望しました。
○豪雨災害から命を守るために

多小跡地は、住民の願いに沿った地域活性化に資する施設を
富多小跡地は、民間活用による「農業と観光を生かした事業」を行うこととなり、現在、事業者の募集が行われています。農業振興地域として豊かな自然を持つ、富多地域の活性化に資する施設にすることが大切です。
「地域住民の願いや野菜作りやいちご栽培に取り組んでいる地域資源をどのように生かしているのか、民間活用ではあるが、市として今後の運営にどのように責任をもつのか」と質しました。
総合政策部長は、「募集にあたり、地域貢献度や地域資源について高い配点としている。地域の活性化に資する事業者が選定できると考えている」と答弁しました。
○専門的部署を設置し、ひきこもりがちな市民への温かい支援を



今尾やすのり

建設委員会副委員長、埼玉斎場組合議会議員、広報広聴委員会委員

内牧5033-1 グリーンパーク春日部 1-111

☎761-3676

生命の尊厳守れる春日部に
殺処分など不幸な猫を増やさないために、国は動物愛護管理法を改定し、埼玉県では「地域猫活動」（猫のご飯やトイレ掃除、不妊手術をすることにより猫の繁殖を抑え、これ以上不幸な猫を増やさない目的のために始められた活動）を推奨しています。
市に、不妊手術への補助や「地域猫活動」への参加を求めました。環境経済部長は、「不妊手術が生命の尊厳を守るかどうかの判断は難しい」として消極的な姿勢でした。「地道に活動されている地域の皆さんと一緒に考え学ばべき。小さな生命の尊厳守れる市は、人にも優しい市になります」と主張しました。
○（仮称）北春日部駅周辺区画整理事業について

子ども遊びと生活を保障する
学童保育へ常勤支援員の確保を
今年4月から放課後児童クラブの運営が民間株式会社になりました。8月2日付で父母会連絡会から「常勤支援員は過去最悪の欠員状態」「子どもの安全と支援員の健康維持が懸念される状態」と抗議文が出されました。
抗議文に対する見解と対応、常勤支援員の配置状況について質しました。
子ども未来部長は、抗議文については「真摯に受け止め、丁寧に説明する」と答えましたが、「社協と民間は形態が異なる」などと、常勤支援員の配置状況について答弁しませんでした。
○いつでも、誰でも、どこへでも行ける公共交通の充実を



大野とし子

教育環境委員会委員、国民健康保険運営協議会委員

東中野568-1 ☎746-6136

子ども遊びと生活を保障する
学童保育へ常勤支援員の確保を
今年4月から放課後児童クラブの運営が民間株式会社になりました。8月2日付で父母会連絡会から「常勤支援員は過去最悪の欠員状態」「子どもの安全と支援員の健康維持が懸念される状態」と抗議文が出されました。
抗議文に対する見解と対応、常勤支援員の配置状況について質しました。
子ども未来部長は、抗議文については「真摯に受け止め、丁寧に説明する」と答えましたが、「社協と民間は形態が異なる」などと、常勤支援員の配置状況について答弁しませんでした。
○いつでも、誰でも、どこへでも行ける公共交通の充実を

子ども遊びと生活を保障する
学童保育へ常勤支援員の確保を
今年4月から放課後児童クラブの運営が民間株式会社になりました。8月2日付で父母会連絡会から「常勤支援員は過去最悪の欠員状態」「子どもの安全と支援員の健康維持が懸念される状態」と抗議文が出されました。
抗議文に対する見解と対応、常勤支援員の配置状況について質しました。
子ども未来部長は、抗議文については「真摯に受け止め、丁寧に説明する」と答えましたが、「社協と民間は形態が異なる」などと、常勤支援員の配置状況について答弁しませんでした。
○いつでも、誰でも、どこへでも行ける公共交通の充実を



並木としえ

党議員団幹事長、厚生福祉委員会委員、市立医療センター運営委員会委員

大場374-19 ☎737-4576

子ども遊びと生活を保障する
学童保育へ常勤支援員の確保を
今年4月から放課後児童クラブの運営が民間株式会社になりました。8月2日付で父母会連絡会から「常勤支援員は過去最悪の欠員状態」「子どもの安全と支援員の健康維持が懸念される状態」と抗議文が出されました。
抗議文に対する見解と対応、常勤支援員の配置状況について質しました。
子ども未来部長は、抗議文については「真摯に受け止め、丁寧に説明する」と答えましたが、「社協と民間は形態が異なる」などと、常勤支援員の配置状況について答弁しませんでした。
○いつでも、誰でも、どこへでも行ける公共交通の充実を

子ども遊びと生活を保障する
学童保育へ常勤支援員の確保を
今年4月から放課後児童クラブの運営が民間株式会社になりました。8月2日付で父母会連絡会から「常勤支援員は過去最悪の欠員状態」「子どもの安全と支援員の健康維持が懸念される状態」と抗議文が出されました。
抗議文に対する見解と対応、常勤支援員の配置状況について質しました。
子ども未来部長は、抗議文については「真摯に受け止め、丁寧に説明する」と答えましたが、「社協と民間は形態が異なる」などと、常勤支援員の配置状況について答弁しませんでした。
○いつでも、誰でも、どこへでも行ける公共交通の充実を

市民アンケートにご協力をお願いいたします。

ご意見・ご要望、お困りごとは下記までご連絡ください。

日本共産党春日部市議団

〒344-0067 春日部市中央7-10-9

電話 736-9933

FAX 736-9991 (春日部市委員会)